

【東地区】

佐久市洪水ハザードマップ 住民説明会

（WEB説明会）

〔 滑津川流域 〕

- 1.洪水ハザードマップとは
- 2.洪水によるリスク・ハザードマップの見方
- 3.洪水ハザードマップの活用

佐久市

危機管理課 危機管理係・消防団係

1

1.洪水ハザードマップとは

- 洪水ハザードマップとは
- 洪水浸水想定区域図の公表（長野県）
- 想定最大規模降雨とは
- 佐久市洪水ハザードマップの
作成・配布・住民説明会、マップ概要

2

“ハザードマップ”とは

- ハザードマップ＝『災害（被害）予測図』

目的：自然災害による被害の軽減・防災対策

記載内容：被害の及ぶ範囲・被害の程度・避難場所

想定災害：地震、洪水、土砂災害、火山噴火、
ため池、原子力、津波・高潮、など

洪水ハザードマップとは

- 想定災害：洪水

河川洪水時の「浸水の深さ」・「範囲」
＋

地図情報

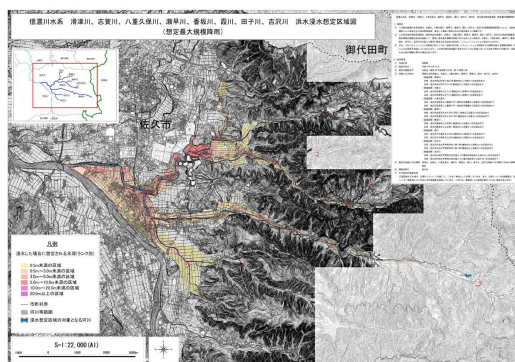
災害危険情報

避難に関する情報

3

洪水浸水想定区域図の公表（長野県）

- 長野県佐久建設事務所は、佐久市内の一級河川30河川のうち、既に公表されている千曲川を除く29河川について、想定最大規模降雨（1,000年に1度の確率）による、洪水浸水想定区域図を新たに作成し、令和4年3月11日に公表。



◀洪水浸水想定区域図
（長野県ホームページより）

滑津川流域

指定の前提となる降雨
（想定最大規模降雨）
24時間で821mm

4

「想定最大規模降雨」とは

定義

1,000年に1度起こるかどうかの確率で発生する
猛烈な豪雨で、「想定し得る最大規模の降雨」

発生確率

1 年間に発生する確率が「0.1%以下の降雨」
※1,000年ごとに1回発生する周期的降雨ではない

5

佐久市防災マップ



計画規模
(100年に1回の確率)

佐久市洪水ハザードマップ



想定最大規模
(1,000年に1回の確率)

6

佐久市洪水ハザードマップについて

作成・配布

マップの構成（共通面・拡大面）

7

佐久市洪水ハザードマップ作成

～洪水浸水想定区域図が公表された市内29河川～

- ・ 湯川、濁川、石突川、雨川、谷川、曾原川、馬坂川
- ・ 滑津川流域（滑津川・志賀川・香坂川・霞川・
瀬早川・八重久保川・田子川・吉沢川）
- ・ 片貝川流域（片貝川・大沢川・倉沢川・小宮山川・百々川）
- ・ 中沢川流域（中沢川・宮川・堂ノ入川）
- ・ 布施川流域（布施川・須釜川・中沢川）
- ・ 鹿曲川流域（鹿曲川・八丁地川・細小路川）

河川流域ごとに作成

今回の洪水ハザードマップは「**滑津川流域**」
浅間地区、中込地区、東地区、臼田地区
を流れる 8 河川

8

洪水ハザードマップ配布・住民説明会

作成	配布	対象河川	住民説明会
6月	7月	・滑津川流域 (滑津川・志賀川・香坂川・霞川・瀬早川・八重久保川・田子川・吉沢川)	【7月】 ・中込地区 ・東地区
7月	8月	・片貝川流域 (片貝川・大沢川・倉沢川・小宮山川・百々川) ・中沢川流域 (中沢川・宮川・堂ノ入川) ・石突川	【11月】 ・野沢地区
		・雨川、谷川、菅原川、馬坂川	【11月】 ・臼田地区
9月	10月	・湯川、濁川	【10月】 ・浅間地区 ・浅科地区 ・望月地区
		・布施川流域 (布施川・須釜川・中沢川) ・石突川	
		・鹿曲川流域 (鹿曲川・八丁地川・細小路川)	

- ・洪水ハザードマップ配布（浸水想定区域内にお住いの皆様）
- ・住民説明会開催（対象地区ごと）

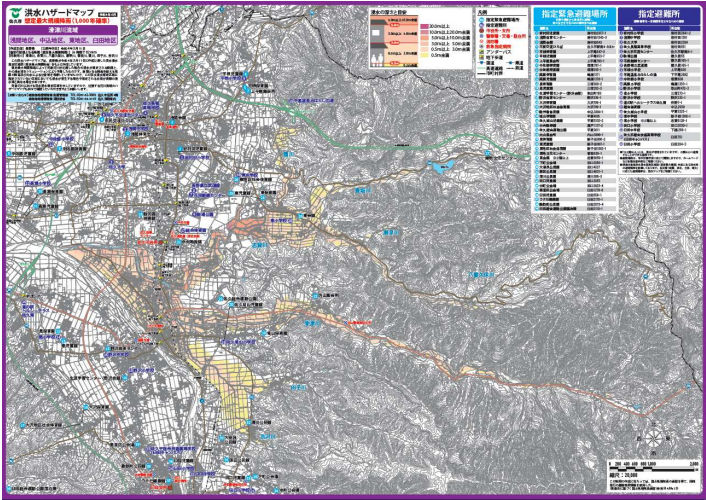
9

【共通面】

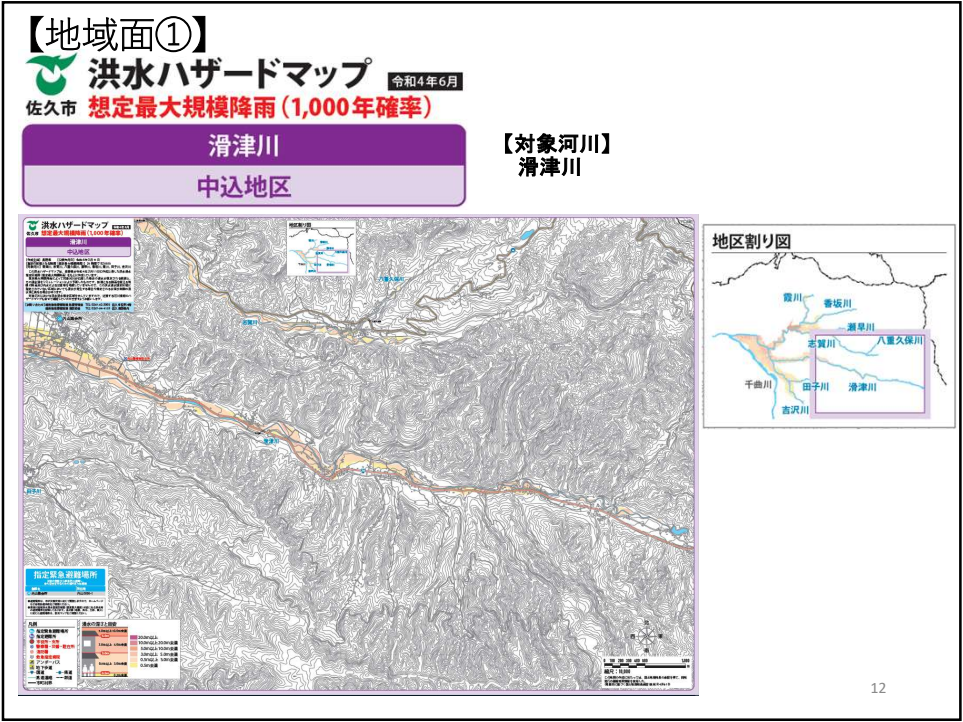
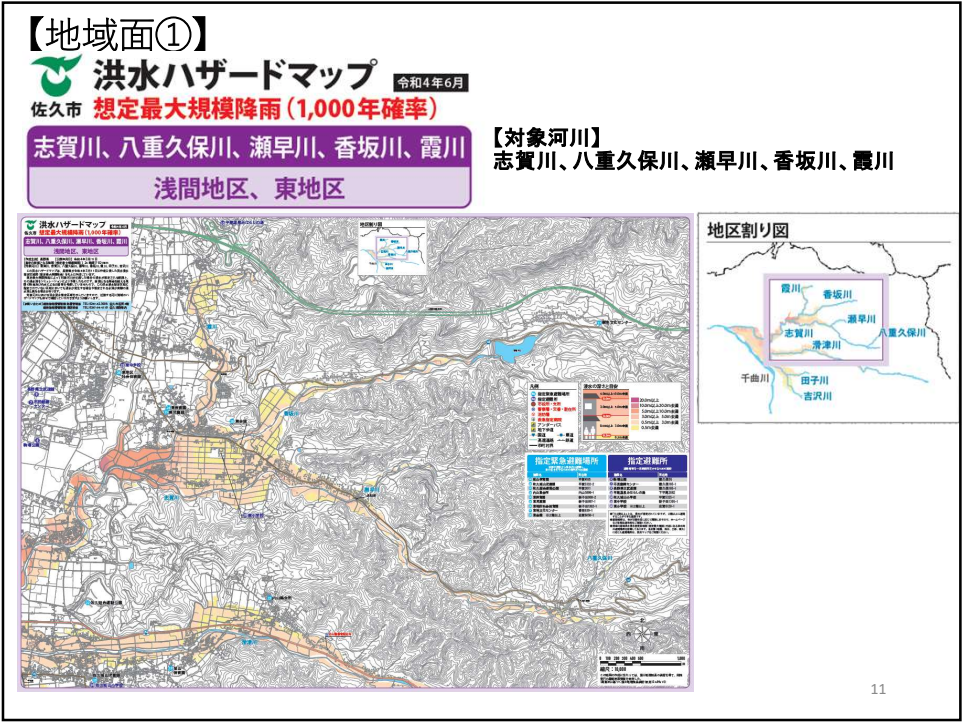


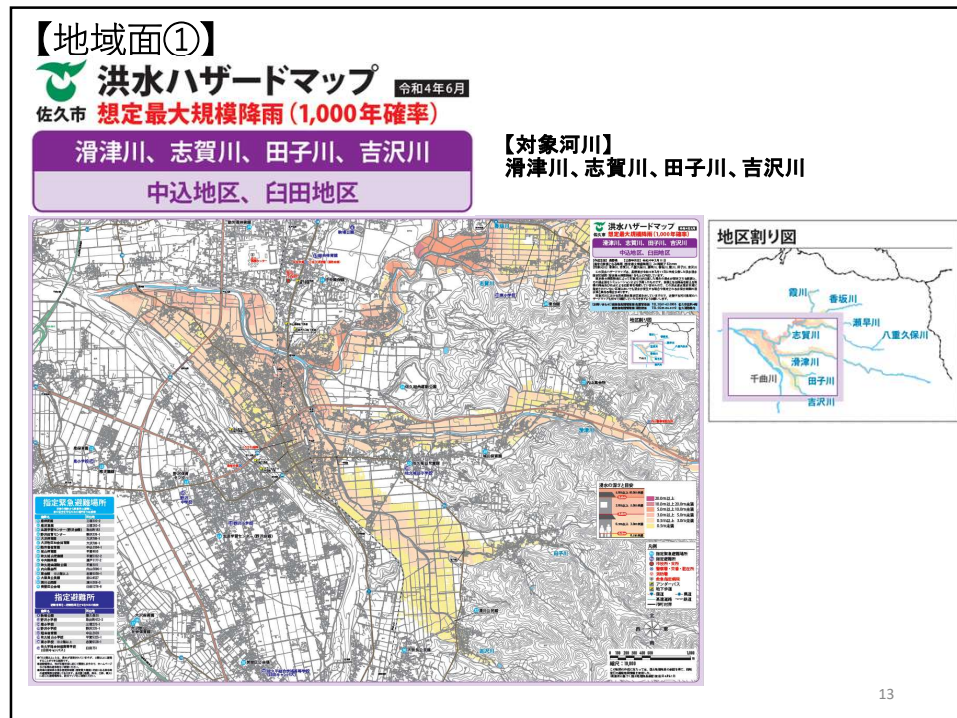
洪水ハザードマップ 令和4年6月
佐久市 **想定最大規模降雨(1,000年確率)**
滑津川流域
浅間地区、中込地区、東地区、臼田地区

【作成主体】長野県
【公表年月日】令和4年3月11日
【指定の前提となる降雨(想定最大規模降雨)】
24時間で821mm
【対象河川】滑津川、志賀川、八重久保川、瀬早川、
香坂川、霞川、田子川、吉沢川



10





2.洪水によるリスク・ハザードマップの見方

- ・洪水による災害リスクの見方
- ・浸水深によるリスク
- ・避難時の危険箇所の表示
- ・避難所施設の表示

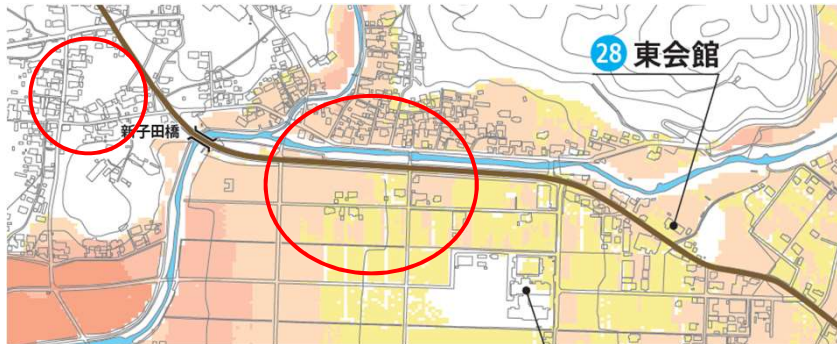
洪水による災害リスクの見方

- 洪水による災害リスク

浸水想定区域・浸水の深さ

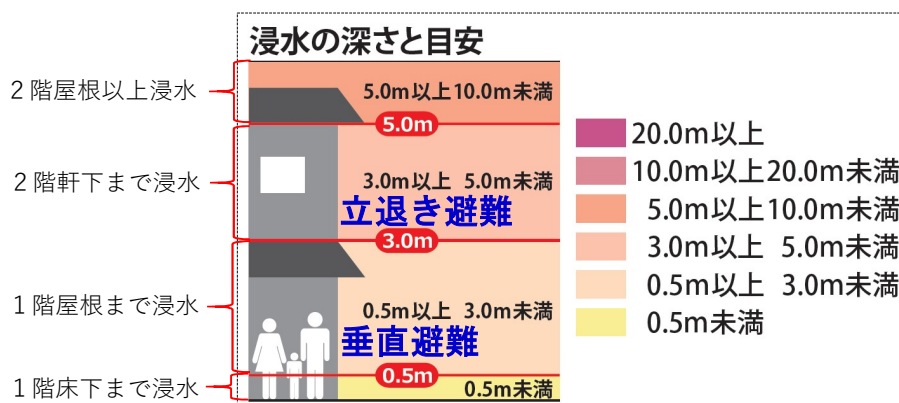
- 洪水ハザードマップで確認する事項

自宅の場所・避難経路・避難場所



15

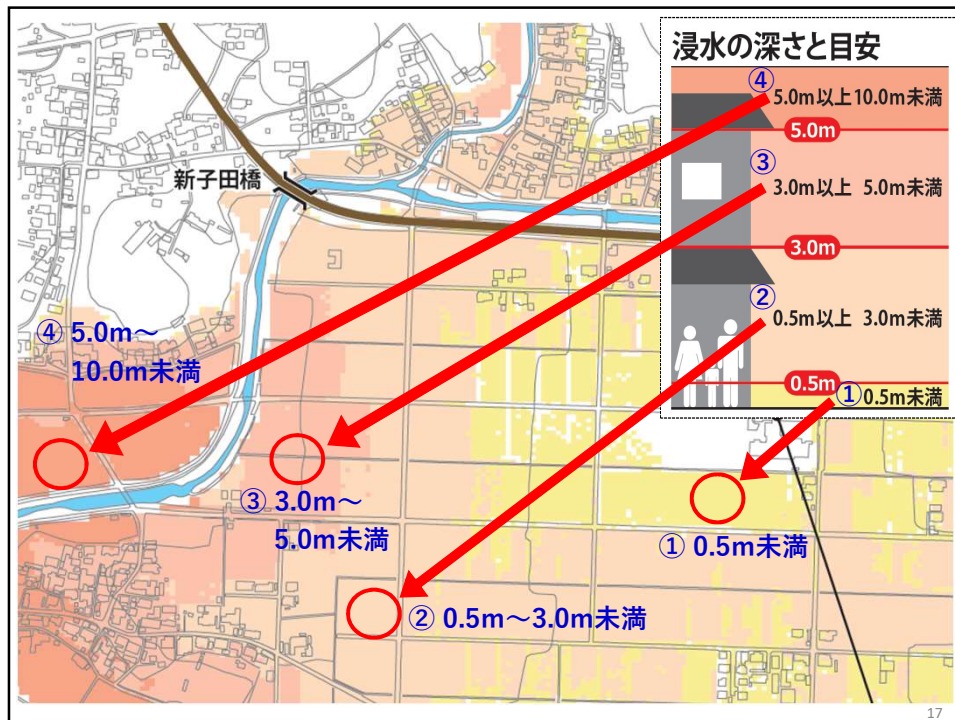
浸水深によるリスク



- 「想定される浸水区域・浸水の深さ」

- ・ 色による「深さ・範囲」を確認
- ・ とるべき避難行動・タイミングを決める

16



洪水による避難時の危険箇所の表示

● アンダーパス・地下歩道

交差する鉄道や道路の下を通過し、周辺の地面より低くなる場所。

冠水に注意。



アンダーパス



地下歩道



アンダーパス・地下歩道の一例



アンダーパス



佐久平駅南西側
アンダーパス



佐久平駅南東側
アンダーパス



地下歩道



グリーンモール
地下歩道



中込R254地下歩道

19

避難所施設の表示

指定緊急避難場所・指定避難所 記載例

No 指定緊急避難場所

災害の危険から緊急的に
避難し、身の安全を守る
ための場所または施設

指定緊急避難場所

災害の危険から緊急的に避難し、
身の安全を守るための場所または施設

施設名	所在地
15 城山保育園	平賀4195
20 佐久城山児童館	平賀5332-2
22 佐久総合運動公園	平賀3011
24 内山集会所	内山5899-1
25 東保育園	新子田880-2
26 東児童館	新子田897-1
26 東地区社会体育館	新子田1382-1
27 東地文化センター	香坂630-1
28 東会館 ※2階以上	志賀6059-1

No 指定避難所

避難者等が一定期間滞在
するための施設

指定避難所

避難者等を一定期間滞在させるための施設

施設名	所在地
6 駒場公園	猿久保55
7 市民創健センター	猿久保165-1
8 長野県立武道館	猿久保165-1
10 平尾温泉みはらしの湯	下平尾2682
15 佐久城山小学校	平賀5325-1
19 東中学校	新子田1396-1
20 東小学校 ※2階以上	志賀6128-1

※各地区の指定避難所・指定緊急避難場所は、
別ファイルの「資料2」をご確認ください。

20

20 東小学校	※2階以上	志賀6128-1
28 東会館	※2階以上	志賀6059-1

- 「※2階以上」とは、浸水が想定されていますが、2階以上に避難することができる施設です。
- 避難場所は、市が災害状況に応じて開設しますので、ホームページなど各種伝達手段をご確認ください。
- 滑津川流域洪水浸水想定区域図（想定最大規模）付近にある洪水時の避難場所を記載してあります。各災害（地震、洪水、土砂、噴火）に応じた避難場所は、防災マップをご確認ください。

- ・近接する河川流域のハザードマップも併せて確認
- ・浸水想定区域が重なる場所は、浸水の深い方を参照

21

3.洪水ハザードマップの活用

- ・佐久市洪水ハザードマップの活用
- ・平時からの災害リスクの確認
- ・防災マップとの違い
- ・防災情報の取得方法
- ・いつ避難するか
- ・どこに避難するか（分散避難）
- ・どう避難するか（立退き避難・垂直避難）
- ・事前に備えるために

22

佐久市洪水ハザードマップの活用

洪水などの災害から命を守るために、
自分の住んでいる地域に

「どのような災害が想定されているか」

「どのタイミングで避難行動を開始するか」

「どのような避難行動をとれば良いか」

を正しく知っておくことが重要！

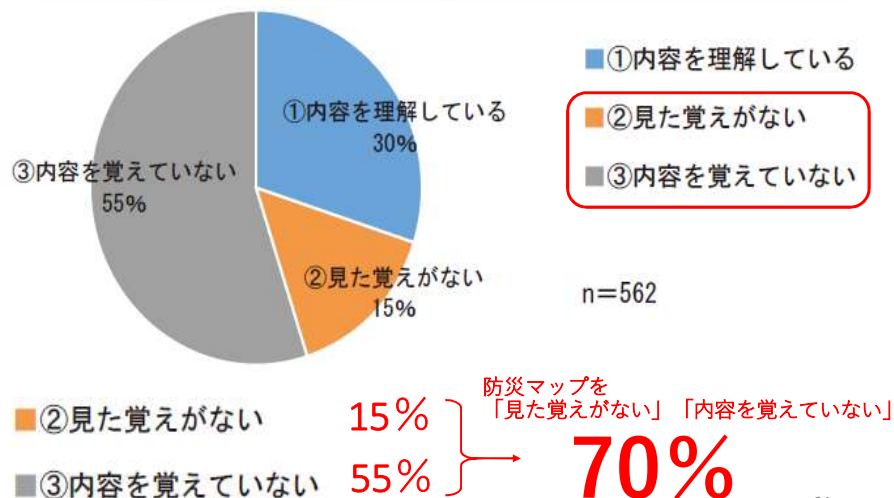
23

平時からの災害リスクの確認

令和元年東日本台風（台風第19号）市民アンケート結果

◆ 普段からの備えについてお聞きします。

（１）佐久市の防災マップを見たことがありますか。



24

佐久市防災マップとの違い

洪水・土砂災害・地震・火山噴火

「千曲川・湯川・滑津川・志賀川」
の4河川の浸水想定区域図を記載。

計画規模(100年に1回の確率)



指定緊急避難場所		指定避難所	
千曲川	千曲川	千曲川	千曲川
湯川	湯川	湯川	湯川
滑津川	滑津川	滑津川	滑津川
志賀川	志賀川	志賀川	志賀川

常に、最大規模降雨(1,000年確率)を想定して避難をすべきか。

最悪の事態を想定することは大事。

起こり得る頻度の高い想定を意識することが必要。

→防災マップは、**まず最初に意識すべき目安**となる。

25

令和元年東日本台風（台風第19号）

令和元年東日本台風（台風第19号）は、佐久市の記録上、最大の雨量により、大きな被害をもたらしました。

(単位：ミリ)

	初谷	駒込	佐久	臼田建設	望月牧場
24時間降水量	546.0	419.0	303.5	299.0	293.0
降り始めから降り終わり	568.0	433.0	311.5	303.0	299.0

まずは、**令和元年東日本台風の被害を振り返ることが大切！**

危険箇所を地域でまとめ、共有しておくことが有益

【指定の前提となる降雨（想定最大規模降雨）】

滑津川流域 24時間で821mm

台風や大雨の場合、早い段階から洪水災害の予測が可能。

佐久市では、災害の危険が予想される場合、早い段階から大雨等への警戒情報を発信。

令和元年東日本台風（台風19号）
の時は、10/10（木）12：30
から警戒情報を発信

26

佐久市からの防災情報の取得方法

佐久市情報配信
サービス
「さくネット」

電話・FAX・メール

防災無線（無料）
テレホンサービス

電話（フリーダイヤル）

0120-71-1120

（24時間対応）

佐久市公式SNS

LINE
facebook
Twitter

地域コミュニケーション
システム
「さくステ」

スマートフォンアプリ
ガラケーアプリ

防災行政無線

非常災害や緊急事項
災害予防や気象予報・警報
の伝達・連絡などを放送

佐久市HP
災害情報公開
システム

防災行政無線の放送内容
通行止め箇所など

緊急速報メール

特定エリア内の
携帯電話への緊急メール

f mさくだいら
（76.5Mhz）

防災情報を随時
お知らせ

佐久ケーブルテレビ
（佐久防災チャンネル）

防災行政無線の内容
河川の水位情報
河川カメラの映像など

27

さくステを活用した雨量・河川状況の確認



メニュー



※さくステの登録は、概要欄にリンクがあります。

28

①雨量計情報

佐久市

地図 現在状態 計測履歴 警報一覧 日報 月報 ユーザー設定

戻る 雨量情報

「現在状態」

戻る 雨量情報

「日報」

29

②河川カメラ・水位計情報

河川カメラ

水位計

30

◆いつ避難するか（避難のタイミング）

佐久市から発令される「避難情報」

避難情報 発令	住民がとるべき行動		警戒 レベル	避難情報等
	命の危険！直ちに身の安全確保		5	緊急安全確保
	↓ 警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難 ↓			
	危険な 場所から	全 員 避 難	4	避難指示
	危険な 場所から	高齢者・障がい者等 避難	3	高齢者等避難
必要に応じて 自主避難	避難行動の確認		2	大雨・洪水注意報
	最新情報に注意 災害への心構えを高める		1	早期注意情報

避難に要する時間は、個々の事情により異なる。
危険を感じたら早めに避難を。

31

◆どこに避難するか

市が開設する避難所

災害の種類、被害の状況等によって
開設する指定緊急避難場所・指定避難所を
「市が決定・開設」します。

災害時、**全て（187施設）**の

「指定緊急避難場所」

「指定避難所」 が

開設されるとは限りません。



32

◆どこに避難するか

「分散避難」

安全な親戚・知人宅等への避難

親戚・知人に普段から「災害時に避難すること」を相談しておきましょう。



自主避難所への避難

地域の自主防災組織（区）が開設する避難所（公民館等）への避難。



市が指定・開設した避難所等への避難

災害の種類・被害の状況に応じて市が開設する避難所。



33

◆どう避難するか（避難方法）

「立退き避難」と「垂直避難」

【立退き避難が推奨される状況】（水平避難）

- ・安全な場所へ向かうため時間が十分ある
- ・今いる建物で垂直避難を選んでも、命の危険がある
- ・浸水深が、今いる建物よりも高い（深い）
- ・土砂災害（特別）警戒区域にいる

← 立退き避難



【垂直避難が推奨される状況】

- ・既に災害が発生し、外に出ることが危険な状態
- ・夜間で見通しが悪く、急激に状況が悪化した場合
- ・浸水などによる建物倒壊のおそれがない場合
- ・浸水深が、高層階よりも低い（浅い）



34

事前に備えるために

防災マップや洪水ハザードマップを活用して、さらに・・・

災害時に最も早い支援となるのは隣近所の支え合い

近助（きんじょ）

- 地域の避難訓練に参加（コミュニティの形成＝共助）
 - 自主防災組織（区）の防災訓練
- 高齢者等の要配慮者の避難支援
 - 地域で助け合う共助・近助
- 地域の危険箇所の確認・共有
 - さくの絆作戦（消防団と地域住民で情報共有）
- マイ・タイムライン（防災行動計画）の作成
 - 災害時の行動を確認（いつ・誰が・何をするか）

35

まとめ

◎洪水ハザードマップの見方

- ・ 洪水による災害リスクの確認
- ・ 浸水区域・浸水の深さ
- ・ 自宅の場所・避難場所・避難経路

◎洪水ハザードマップの活用

- 避難行動 {
- いつ : 避難情報
 - どこへ : 分散避難
 - どのように : 立退き避難・垂直避難

36

説明は以上となります。
ご覧いただき、ありがとうございました。

終

37